

■取得単位数確認手順/年間取得単位の上限値について■

取得単位数確認手順

BSIJ-CPD情報システム 参加者用

認定プログラム一覧 取得単位数確認 自己申請 実務実績申請 登録情報の変更 ログアウト

自己申請したプログラムの状況と取得した単位数(時間)数の確認を行います。 [取得単位の確認にあたって](#)

参加者

ユーザーID: []
参加者氏名: []
参加制度: [日本建築積算協会]

[コスト管理士更新要件確認](#) [トップページへ](#)

参加制度別取得単位数

取得単位数の確認は、以下の「実施期間」を確認したい範囲の年月日を指定してください。
初期設定は2006年10月1日から来年の3月31日までです。

実施期間 2006年 10月 01日 ~ 2016年 03月 31日迄 [確認する](#)

表示の数字で、時間とあるのは申請時間数を、単位とあるのは(申請時間×変換係数)を表しています。
取得単位数(時間)数の表示は、上段は承認されたプログラム、下段()内は審査待ちのプログラムとなっています。
不備となっている申請は集計の対象にはしていません。

■積算協会CPD 単位数 [497] (0)

形態別取得単位数

参加学習型	情報提供型	技術協力型	自己学習型	実務実績型
29	152	233	23	60
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

上表は実施期間内の単位数の合計値です。
コスト管理士更新要件のための取得単位数は「コスト管理士更新要件確認画面」で確認してください。

自己申請情報 [審査待ち]

■審査待ちの自己申請 [新しいプログラムから5件を表示しています。] [状態アイコンの意味](#)

プログラムID	申請日	プログラム名	時間	状態
審査待ちの自己申請はありません。				

*「否認」されたものは表示されません。

[このページのトップへ](#)

あなたの記録

■履修履歴情報 全て 認定プログラム 自己申請 [\[\[< 最前\]](#) [\[< 前へ\]](#) [\[次へ >\]](#) [\[最終 >>\]](#)

実施年月日の新しい順に 20 件づつ表示しています。 Page 1 / 1

プログラムID	実施日	プログラム名	時間	単位	状態
00001500	2013年12月1日	[]	2	4	[]
00001499	2013年11月13日	[]	2	4	[]
00001287	2012年12月2日	[]	2	4	[]
00001286	2012年11月27日	[]	2	4	[]
00001285	2012年11月14日	[]	2	4	[]
00001284	2012年11月2日	[]	2	4	[]
00001176	2012年3月21日	[]	2.5	2.5	[]
00001107	2011年9月21日	[]	5	10	[]
00001066	2011年9月4日	[]	2	4	[]
00000955	2010年9月5日	[]	3	6	[]
00000816	2009年8月30日	[]	3	6	[]

○コスト管理士更新要件確認

- ・更新期間内の現在の取得単位数
- ・更新に必要な単位数
- ・緩和措置適用の場合の必要単位数等が確認出来る

○実施期間の設定

コスト管理士の有効期間は5年
資格取得から5年間の取得単位数を確認する場合は:
例: 2011年4月1日から5年間の場合
2011年4月1日～2016年3月31日に
変更し「確認をする」と5年間の単位。
注) 実施期間に注意

○審査待ち

審査待ちのプログラムが有る場合:
ここに表示される

○履修履歴情報

※初期設定は「全て」の履修記録

認定プログラムまたは自己申請の履修記録を確認する場合、該当部分をクリック。

[\[\[< 最前\]](#) [\[< 前へ\]](#) [\[次へ >\]](#) [\[最終 >>\]](#)

次の記録がある場合は「次へ」

★ コスト管理士更新要件での【**年間取得単位の上限値について**】は、次ページを参照

年間取得単位の上限値について

BSIJ-CPD制度では、自己研鑽の成果を目で見える形として単位(時間)で表しています。

取得した単位は制度に参加した日から今日までの履歴としてデータベースに記録されています。

建築コスト管理士はコストに関する知識に加え、多岐にわたる分野の知識の修得に努める事が求められており、コスト管理士の登録更新要件は、取得した単位が規定の単位数に達していることに加え、上限値を設ける事で特定の形態だけに突出した単位を取得することなく、結果として、バランスの良い知識の修得ができる事を目指しています。

そこで、いくつかの形態に「年間上限単位」を設け(別表1 BSIJ-CPDシステムの分類と単位・・・参照)、更新に必要な単位数計算時に年度ごと、形態ごとの合計値が上限値に対してオーバーしているか、否かをシステム上で判定します。

上限値をオーバーした場合は、更新要件の単位数には加算されませんが、**オーバーした場合であっても、自己研鑽の成果である研修履歴を、削除する事はありません。**(履歴としてストック)

例：積算太郎さんの履修

コスト管理士登録有効期間

[2012/04/01~2017/03/31] の単位について、上限値チェックをした更新要件として認められる履修単位数が表示されません。下段の「履修記録」一覧表を参照下

ユーザID:	BS0000000000 (建築コスト管理士番号)
参加者氏名:	積算 太郎
登録年月日:	2012年4月1日
有効期間:	2012年4月1日~2017年3月31日
遡及期間:	

■コスト管理士

単位数 [156] (0)

形態別取得単位数

更新必要単位数 [80] (0) 緩和措置適用の場合 [50]

参加学習型	情報提供型	技術協力型	自己学習型
46 (0)	30 (0)	8 (0)	66 (0)

「履修記録」・・・システム保存状況

※(画面には表示されません)

年度	形態	参加学習型		情報提供型		技術協力型		自己学習型		備考
		A	B	A	B	A	B	A	B	
2011年度		9	9	4	4					実務実績型は12年度以降廃止 CPD認定記事: 上限値 10
2012年度	コスト管理士登録期間							15	10	
2013年度		1	1	2	2			13	10	
2014年度		2	2					15	10	
2015年度		30	30	40	12			14	10	
2016年度		4	4	60	12	12	8	30	26	
12年度内訳	情報提供			60	12					上限値 12
	委員会活動					12	8			上限値 8
	CPD認定記事							11	10	上限値 10
	専門雑誌講読							5	4	上限値 4
	専門図書による勉学							14	12	上限値 12
	形態別取得単位数	46	46	106	30	12	8	87	66	合計 A: 274 B: 150

A・・・申請単位数

B・・・年間上限による単位数

※ 実務実績の申請は、2011年度(2012年3月31日)まで、それ以降は申請は出来ません。